

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
(ホームページでのご購入は下記のお客様ご相談窓口参照)

部品名	部品番号
替えストロー (ストローセット・ストローストッパー・チューブ)	ST-04-6B
せんパッキン	BB478039M-01
ステンレスボトル用洗浄剤ピカボトル(10g×4包入り)	SB-ZA01-J

- ストローセット・ストローストッパー・チューブやせんパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- せんなどの樹脂は、食品衛生上安全な材料を使用していますが、ガラガラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換(有料)してください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター



0120-345135

※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ
.....TEL (06)6356-2451(有料)
- FAXでのお問い合わせ.....FAX (06)6356-6143(有料)
製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」
をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

■ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ <http://www.zojirushi-de-shopping.com/>

象印マホービン株式会社

ST-ZG / A



保冷専用

家庭用

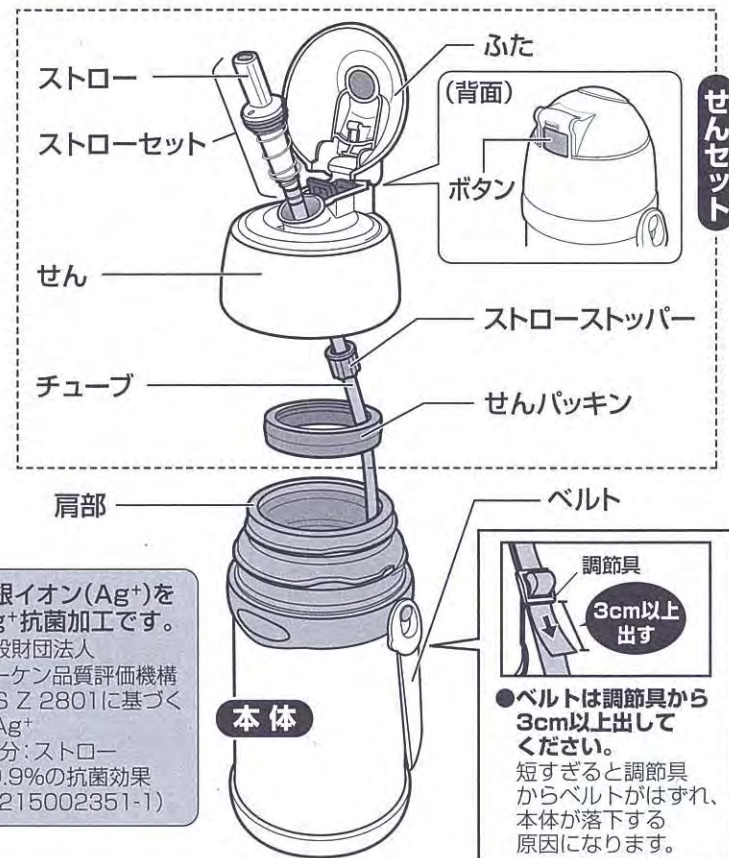
取扱説明書

ステンレス クールボトル
ST-ZG 型

ご使用前に必ずお読みください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

- ご使用ごとに各部品が取りつけられていることをご確認ください。

各部のなまえ



※ストローは銀イオン(Ag⁺)を配合したAg⁺抗菌加工です。
試験機関: 一般財団法人
ボーケン品質評価機構
試験方法: JIS Z 2801に基づく
抗菌の方法: Ag⁺
抗菌の対象部分: ストロー
試験結果: 99.9%の抗菌効果
(試験番号 20215002351-1)

- ベルトは調節具から3cm以上出してください。
短すぎると調節具からベルトがはずれ、本体が落下する原因になります。

● お買い上げの商品とこの取扱説明書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、飲み物の変質・変色や製品の故障・汚れを防ぐために、次のことは必ずお守りください。

保護者の目の届かないところで使用させない。また、乳幼児のいたすには十分注意する

けがの原因になります。

せん・ふた・ストローを持って運んだり、振り回さない

指をはさんだり、落としたりしてけがの原因になります。

ベルトを首に掛けたまま遊ばない。また、周囲の物に引っ掛けないよう注意する

窒息の恐れがあります。

ベルトを持って振り回さない

けがや破損など危険です。

せんセットは確実に閉めて使用する。また使用後はふたを閉める

漏れて衣類やバッグなどを汚す原因になります。

ふたを開けたまま本体を傾けない

漏れて衣類などを汚す原因になります。

ふた・ストローセット・せん・ストロー・ストッパー・せんパッキンは必ずつけた状態で使用する

漏れて車内や衣服を汚す原因になります。

顔などを近づけた状態でボタンを押さない

ストローやふたが飛び出しますので、顔など当たると危険です。

電子レンジでの加熱はしない

火花が飛び危険です。また、変形や変色の原因になります。

自動車走行中は飲まない

車内や衣服を汚す原因になります。また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。

飲み物はその日のうちに飲みきる

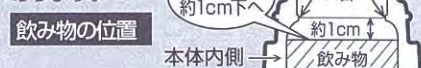
腐敗の原因になります。また長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、せんセットをはずすときに飛んだり、飲み物がふき出たり、せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

熱い飲み物は絶対に入れない

やけどなど危険です。

飲み物の量は図の位置までにする

入れすぎてせんセットを閉めると、飲み物があふれる原因になります。また、あとから漏れ出すことがあります。



次の物は絶対に入れない

●ドライアイス・炭酸飲料など

本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、せんセットが破損して飛散することがあり危険です。

●牛乳・乳飲料・果汁など

成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、せんセットが破損して飛散することがあり危険です。

●みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの

本体内側は、ステンレスにフッ素樹脂コーティングを施しておりますが、さびたり、保冷性能が低下する原因になります。

●果肉・お茶の葉など

詰まる、漏れるなど故障の原因になります。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない

変形や変色の原因になります。

缶やびんなどを本体に入れない

変形し、故障の原因になります。

スポーツ飲料を入れて使用する場合は、次のことを守ること

●外出時など十分にお手入れができない場合でも、使用したあとはすぐに本体内側・本体外側(肩部)・せんセットをよく水洗いしてください。

使用後放置しておく、さびや穴あきなど故障の原因になります。

●本体内側のフッ素コーティングを傷つけないように、柔らかいスポンジなどでお手入れしてください。

傷がつくと、さびや穴あきなどの原因になります。

使用後はすぐに本体内側をよく洗う

さびや穴あきなどの故障や腐敗の原因になります。

飲み物の保冷以外に使用しない

冷たい飲み物を入れての保冷を目的としたものです。

ご注意とお願い

本体の絵柄をつめや固いものでひっかいたり、こすったりしない

はがれる原因になります。

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない

樹脂部分が破損したり、ステンレス表面がへこみ、保冷性能が低下することがあります。

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてから入れる

無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形し、故障の原因になります。

製品専用の部品以外は取りつけない

漏れや故障の原因になります。

お手入れの際は次のことを守る

●シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しない

製品を損傷する原因になります。

●塩素系漂白剤は使用しない

さびや穴あき(本体内側)など故障の原因になります。

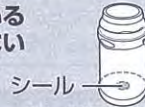
●煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない

傷やさび・変形など故障の原因になります。

●丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしない

本体外側の底に貼っているシールは絶対にはがさない

さびや穴あきなど故障の原因になります。



改造や分解修理はしない

故障や事故の原因になります。

温度が高いときに冷たい飲み物を入れると、せんセットに水滴がつく場合があります。バッグなどには縦置きにして入れてください。

洗浄したせんセットに、水が残らないよう数回ふり、十分ふき取る

残った水が漏れてくる場合があります。

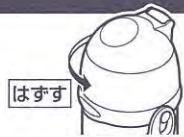
使用後は必ずせんセット(ストロー・セット・ふた・せん・ストロー・ストッパー・チューブ・せんパッキン)をきれいに洗う

腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になります。また飲み物が漏れる原因になります。

使い方

●ご使用前にせんセット・本体内側・本体外側を、お手入れ方法に従って十分に洗ってください。

1 本体からせんセットをはずす



2 冷たい飲み物を入れる

(飲み物の量はP.2参照)

あらかじめ本体に少量の冷水を入れ、1分程度予冷すると、より効果的です。

3 せんセットを取りつける

ふたを閉めた状態で、せんセットを矢印の方向に回し、確実に取りつけます。



- せんパッキンが正しく取り付けられていることを確認の上、ご使用ください。(飲み物が漏れる原因になります。P.8「1 せんパッキンを取りつける」参照)
- せんセットは本体を立てた状態で、象印ロゴマークとせんセットの正面が合う位置まで、確実に閉めてください。
- 氷を入れすぎると、チューブが折れ曲がり、飲み物が最後まで飲めないことがあります。
- 本体を逆さにして漏れないことを確認してください。漏れた場合は「P.6 Q&A」参照

4 飲み物を飲む

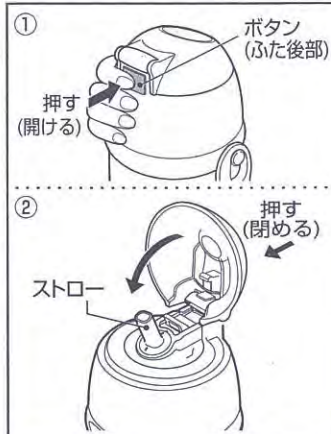
- ① 本体を立てた状態でボタンの中央部を押し、ふたを開き、ストローを出す

- ふたを開けるときの、製品を両手で持ち、ボタンを押してください。

- ② ストローから飲み物を飲む

飲んだあとは本体を立てた状態で、ふたの中央部を矢印の方向に押して、カチッと音がするまで確実に閉めてください。

- ふたを閉める際、指を挟まないようご注意ください。
- ふたが確実に閉まっていないと、不意に開く場合があります。



- 飲み物を飲んだあとは、本体を立てた状態でふたを閉じてください。
- ボタンを誤って押さないように注意してください。
- バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために本体を縦に置いてください。



お手入れ

●においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

●必ず分解してからお手入れをしてください。(P.7「せんセットの分解方法」参照)

本体外側 せんセット	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う。 ②すすぎ洗いのあと、数回振り、水気をふいてよく乾燥させる。 ●せんセット(ストローセット・ふた・せん・ストロー・ストッパー・チューブ・せんパッキン)は分解した状態で洗浄、乾燥させてください。 ●洗いにくい部分は市販の小型ブラシなどで洗ってください。 ●ベルトははずしてからお手入れしてください。
本体内側	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を、柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシなどに含ませて洗う。 ②すすぎ洗いのあと、水気をふいて乾燥させる。 ●常にお手入れをしていただきますと、においの付着を防ぎ清潔に使用していただけます。
ベルト	ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませて、汚れをふき取ってください。その後、ぬるま湯を柔らかい布に含ませて固くしぼり、ふいてください。

お手入れ時の注意

- 煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
- 本体外側は、漂白剤を使用しないでください。

本体の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。

- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 丸洗いでできますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。
- 本体を丸洗いしたあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。水滴のあとやさびが発生する原因になります。



赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、せんセットを取りつけずに30分～1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。(上記「お手入れ」参照)

茶しぶなどのお手入れ

本体内側やせんセットにこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗剤 **ピカボトル**」をご利用ください。(別売品)(P.10参照)
●ピカボトルを使用する場合は、せんセットを本体からはずしてください。

Q&A

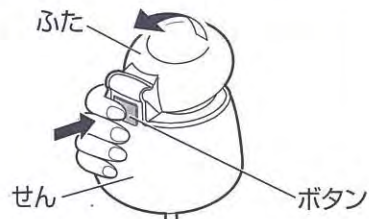
症 状	原 因	処 置
せんセットから飲み物が漏れる	ふた・ストローセット・せんパッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	ふた・ストローセット・せんパッキンの取り付け位置や方向・浮きがないことを確認してください。(P.7～9「せんセットの分解・組立方法」参照)
	せんセット(ストローセット・ふた・せん・ストロー・ストッパー・チューブ・せんパッキン)が汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。(P.5「お手入れ」参照)
	飲み物を入れすぎていませんか。	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。(P.2「飲み物の位置」参照)
飲み物(本体内側・せんセット)がにおう	飲み物を長時間入れたままだり、本体内側・せんセットやパッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。(P.5「お手入れ」参照)
保冷が効かない	十分に冷たい飲み物を入れていませんか。	十分に冷たい飲み物を正しい位置まで入れてください。予冷をするとより効果的です。(P.4「2 冷たい飲み物を入れる」参照)
製品を振ると「シャカシャカ」という音がする	保冷効果を高めるために、本体内部に入れている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。異常ではありません。	

せんセットの分解・組立方法

●ストローセット・ストローstopper・チューブ・せんパッキンは、正しく取りつけてください。(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)

分解方法

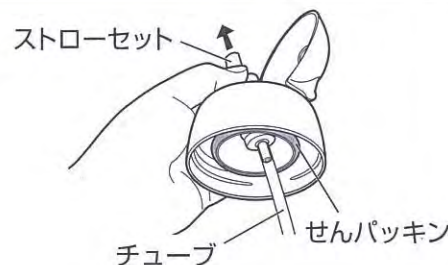
- 1 ボタンを押してふたを開ける



- 2 ストローの先を軽く押さえながら、ストローstopperを矢印の方向に回し、はずす



- 3 ストローセットを矢印の方向へ抜く



- 4 ストローセットからチューブを取りはずす

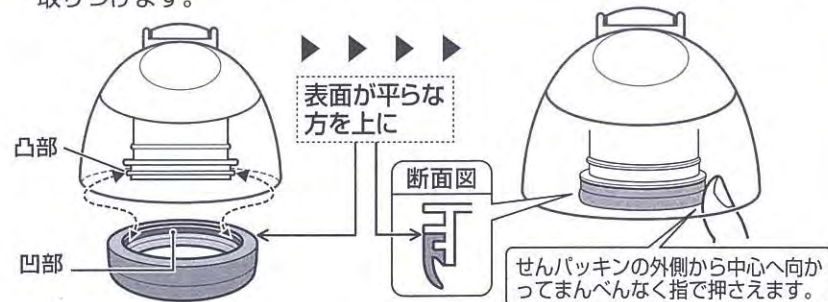


- 5 せんパッキンをはずす

組立方法

- 1 せんパッキンを取りつける

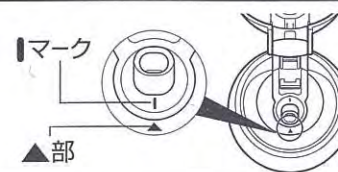
せんパッキンの凹部とせんの凸部を合わせ、周囲から押し込むようにして取りつけます。



- 2 チューブをストローセットに取りつける



- 3 せんの▲部にストローのIマークを合わせ、ストローを奥まで押し込む



- 4 ストローの先を軽く押さえながら、ストローstopperを矢印の方向に回し、取りつける

ストローstopperを強く回しすぎないでください。(変形の原因になります。)



- 5 ふたを閉じる

ふたがはずれたときは…

- ふたは右図のように矢印の方向に押すとはずれる構造です。はずれた場合は、下図のようにせんの凹部とふたの凸部を合わせて取りつけてください。

